

Discussion Paper Series

No. 2023-3

「役に立つよう働かねば」たらしめる意欲の促進・抑制要因
— 向社会的モチベーションの統制的側面に
影響を与える先行要因に着目して—

シン ハヨン (Hayoung SHIN)

2023年 11月



*The Society of
Education & Research
in Management*

Kyoto Sangyo University

「役に立つよう働かねば」たらしめる意欲の促進・抑制要因
—向社会的モチベーションの統制的側面に影響を与える先行要因に着目して—

シン ハヨン

要旨

本稿の目的は、向社会的モチベーションのうち、とりわけ統制的側面に影響をおよぼしうる先行要因について明らかにすることである。向社会的モチベーションが成員のウェルビーイングや協力的行動、職務成果に与える好影響が報告されるに伴い、向社会的モチベーションを醸成・強化する先行要因に関する関心が集まっている。

ところが、向社会的モチベーションの先行要因を検討した既存研究には、大きく2つの課題が残されている。第一に、向社会的モチベーションの性質差を明示的に考慮した研究蓄積の少なさである。向社会的モチベーションの性質が自律的であるか統制的であるかによって、成員や組織にとって有益であるか否かが左右される可能性を示した既存研究の知見をふまえると、性質差を区別して検証する必要性があるだろう。具体的には、自律的側面は強めつつも、統制的側面は弱めることが望ましい。しかし、一部の先行研究 (Grant, 2007, 2008a) において、向社会的モチベーションの自律的側面だけを扱うのか統制的側面も内包したうえでの議論なのか不明瞭な点がある。第二に、先行研究における研究関心の偏りである。本稿では、Grant (2007)以降における後続研究の多くが向社会的モチベーションの自律的側面だけに焦点をあてており、義務感やプレッシャーにもとづく統制的側面に関する検討はほとんどなされていない点を指摘する。

以上をふまえ、本稿では向社会的モチベーションの統制的側面に主眼を置き、これに影響をおよぼす先行要因について、自律的側面との比較と併せて検討を行う。

キーワード：

向社会的モチベーション・統制的動機づけ・先行要因・自己決定理論・仕事文脈